科目名	書道Ⅰ	単位数	2単位	実施予定授業数	70時間

☆学習の到達目標

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力等】	【学びに向かう力・人間性等】
書の表現の方法や形式，多様性などについて幅広く理解するとともに，書写能力の向上を図り，書の伝統に基づき，効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
使用教科書・副教材　等	「書道Ⅰ」（光村図書）	

☆学習計画および評価方法

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
○漢字の書・仮名の書について、書風と用筆・運筆の関係を理解し、古典の表現に基づく、基礎的な用筆・運筆の技能を身につけ表している。 ○漢字仮名交じりの書について、漢字と仮名の調和した表現の基礎的な技能を身に付け、目的や用途に即した効果的な表現の技能を身につけ表している。 ○日常生活の書の効用や、書の伝統と文化について理解している。	○漢字・仮名・漢字仮名交じりの書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 ○日常生活の書の効用、文字及び書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。	○漢字・仮名・漢字仮名交じりの書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。 ○日常生活の書の効用や、書の伝統と文化について関心をもち、書のよさや美しさを理解しようとしている。

学期	学習内容	月	学習のねらい（評価基準）	時間数
1学期	○オリエンテーション 書写から書道へ	4 5	・年間の授業の進め方および学習方法、座席についての指導。 教材費についての連絡、授業ノートの作成。 ・中学校で学習した書写の確認。 芸術科書道への関心・意欲を高め、書道の三分野と、臨書・鑑賞・創作という学習方法があることを理解し、中学との学習の違いを認識する。	23時間
	○漢字の書 ・楷書の学習 （初唐の三大家）	6	・楷書の基本（歴史的背景、特徴、用筆） ・九成宮醴泉銘の鑑賞と臨書（背勢の構えの理解） ・孔子廟堂碑の鑑賞と臨書（向勢の構えの理解） ・雁塔聖教序の鑑賞と臨書（蔵鋒の理解） 代表的な楷書の筆者や時代背景について、基礎的な知識を身に付け、書風の違いを感じ取る。	
	【知識・技能】○毎時間の提出作品（70%）○授業内容の理解（30%）			
	【思考・判断・表現】○毎時間の提出作品（70%）○毎時間の授業ノートでの振り返り（30%）			
	【主体的に学習に取り組む態度】○授業への主体的な参加と取り組み（70%）○生徒による自己評価（30%）			
	【1学期の評価方法】「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40%：30%：30%の割合で総括し、10段階評定とする。			

学期	学習内容	月	学習のねらい（評価基準）	時間数
2学期	○漢字の書 ・行書の学習 ○篆刻の学習	7 8 9 10 11	・行書の基本（歴史的背景、特徴、用筆） ・蘭亭序の鑑賞と臨書（双鉤塡墨の理解） ・風信帖の鑑賞と臨書（気脈の貫通の理解） 「蘭亭序」と筆者王羲之について、基礎的な知識を身に付け、行書の主な特徴を理解する。 ・篆刻の基本（作業手順や用具用材の理解） ・姓名印の制作（字形と構成の工夫） ・印套、印譜の制作（押印の仕方の理解） 篆刻について、用具・用材など基礎的な知識を身に付け、作業工程を理解し、姓名印を作成する。	30時間
	【知識・技能】○毎時間の提出作品（70%）○授業内容の理解（30%）			
	【思考・判断・表現】○毎時間の提出作品（70%）○毎時間の授業ノートでの振り返り（30%）			
	【主体的に学習に取り組む態度】○授業への主体的な参加と取り組み（70%）○生徒による自己評価（30%）			
	【2学期の評価方法】「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40%：30%：30%の割合で総括し、10段階評定とする。			

学期	学習内容	月	学習のねらい（評価基準）	時間数
3学期	○仮名の書